

# 2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

## 1. 動向

2025年7-9月の延べ宿泊者数（全体）は「2,086,670人」、前年同期比で「▲1.1%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「1,720,140人」、前年同期比で「▲3.2%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「366,530人」、前年同期比で「+9.8%」でした。

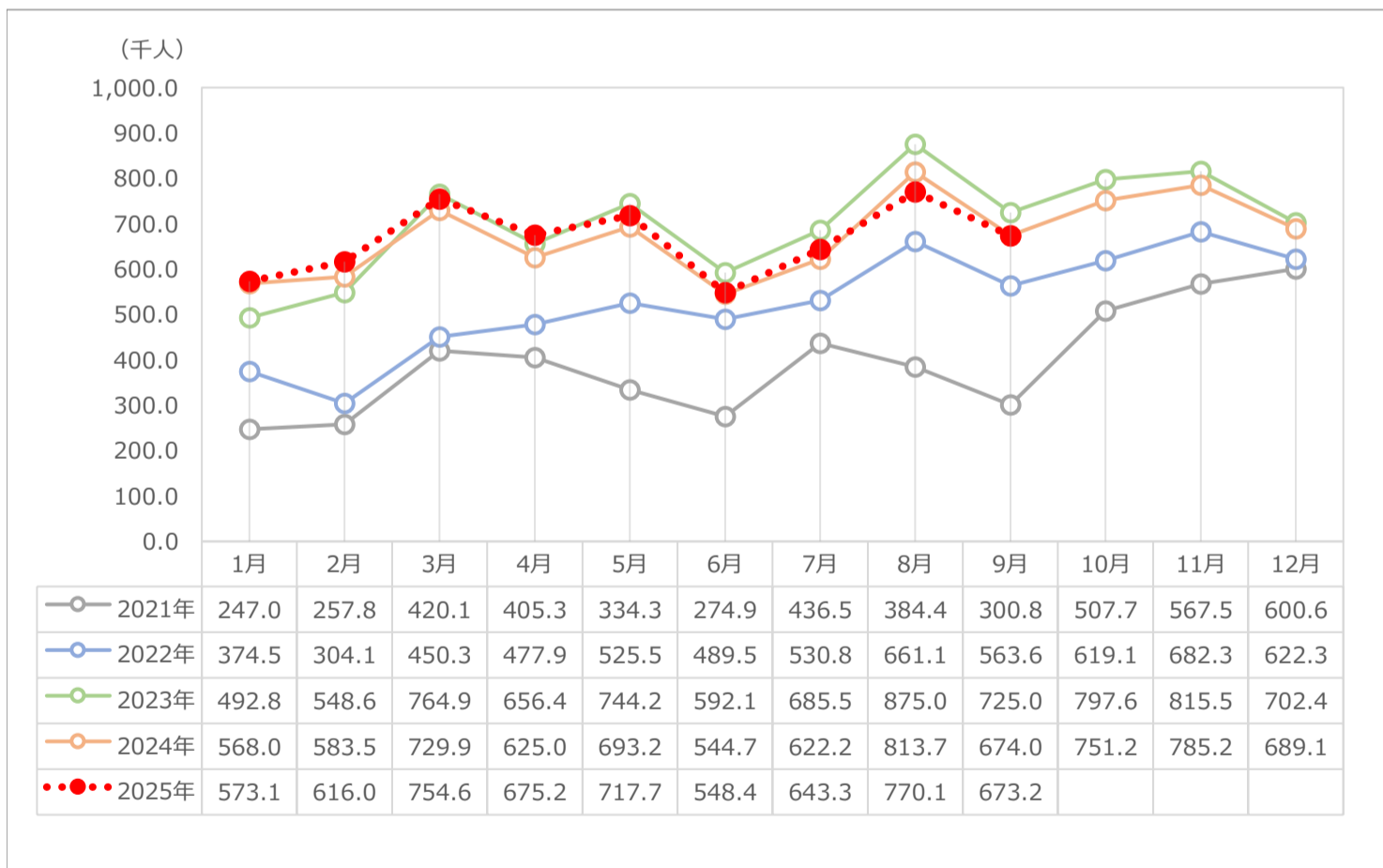
## 2. 延べ宿泊者数

総数：	2,086,670	人	（前年比：▲1.1%）
7月：	643,340	人	（前年比：+3.4%）
8月：	770,110	人	（前年比：▲5.4%）
9月：	673,220	人	（前年比：▲0.1%）

※前年比・・・2024年3Qとの比較

## 3. 推移

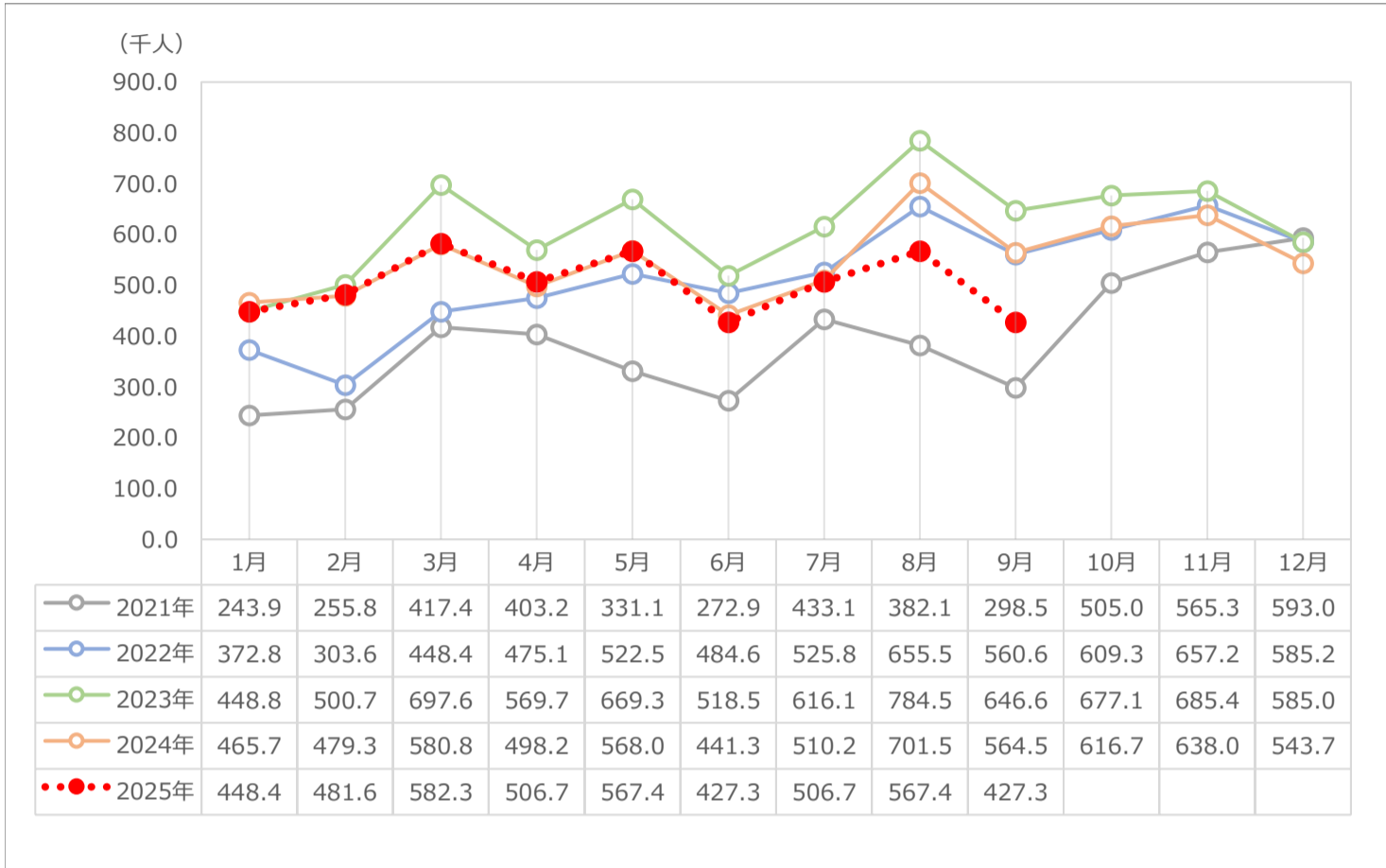
### ① 延べ宿泊者数（全体）



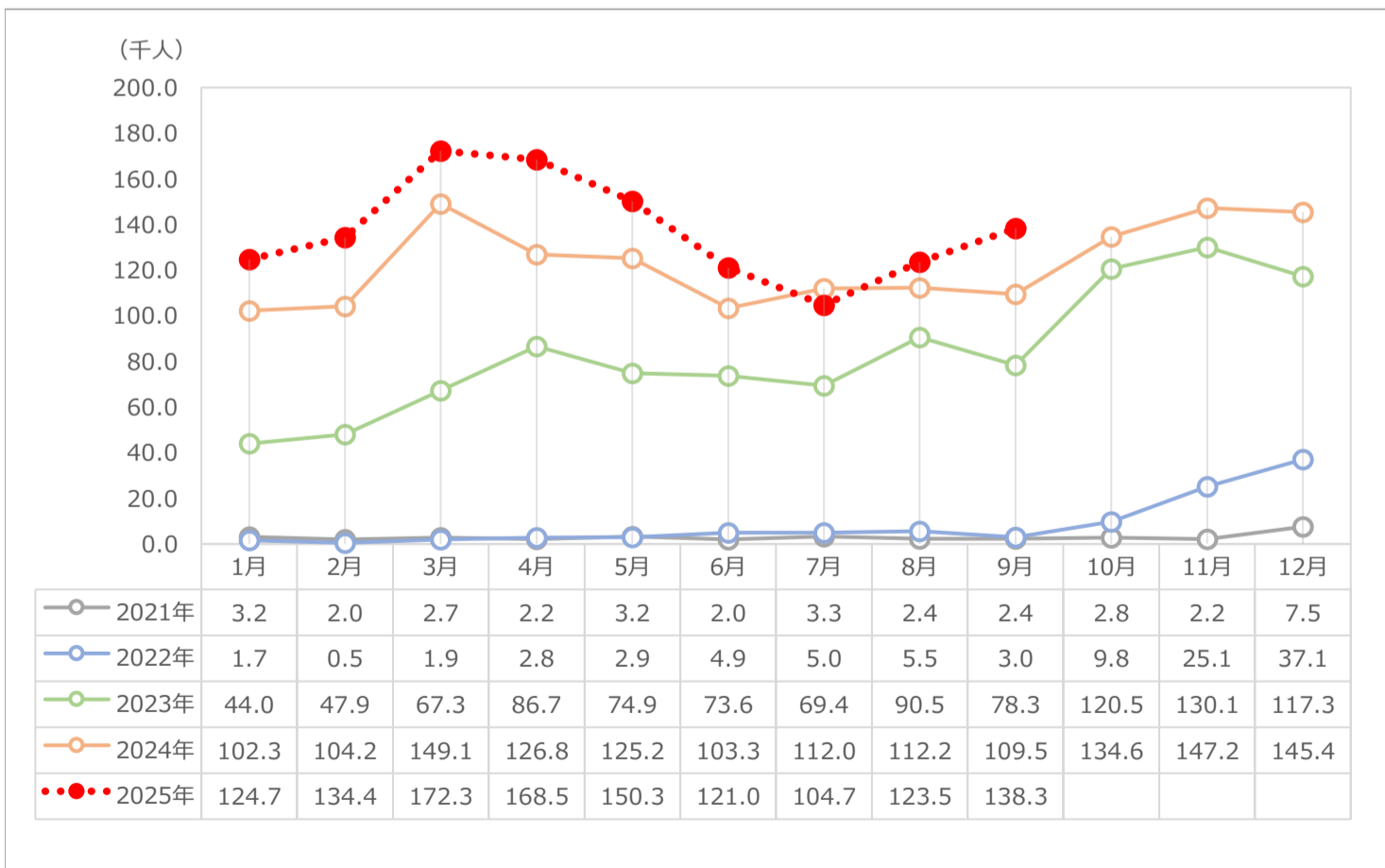
※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

## 2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

### ② 日本人延べ宿泊者数



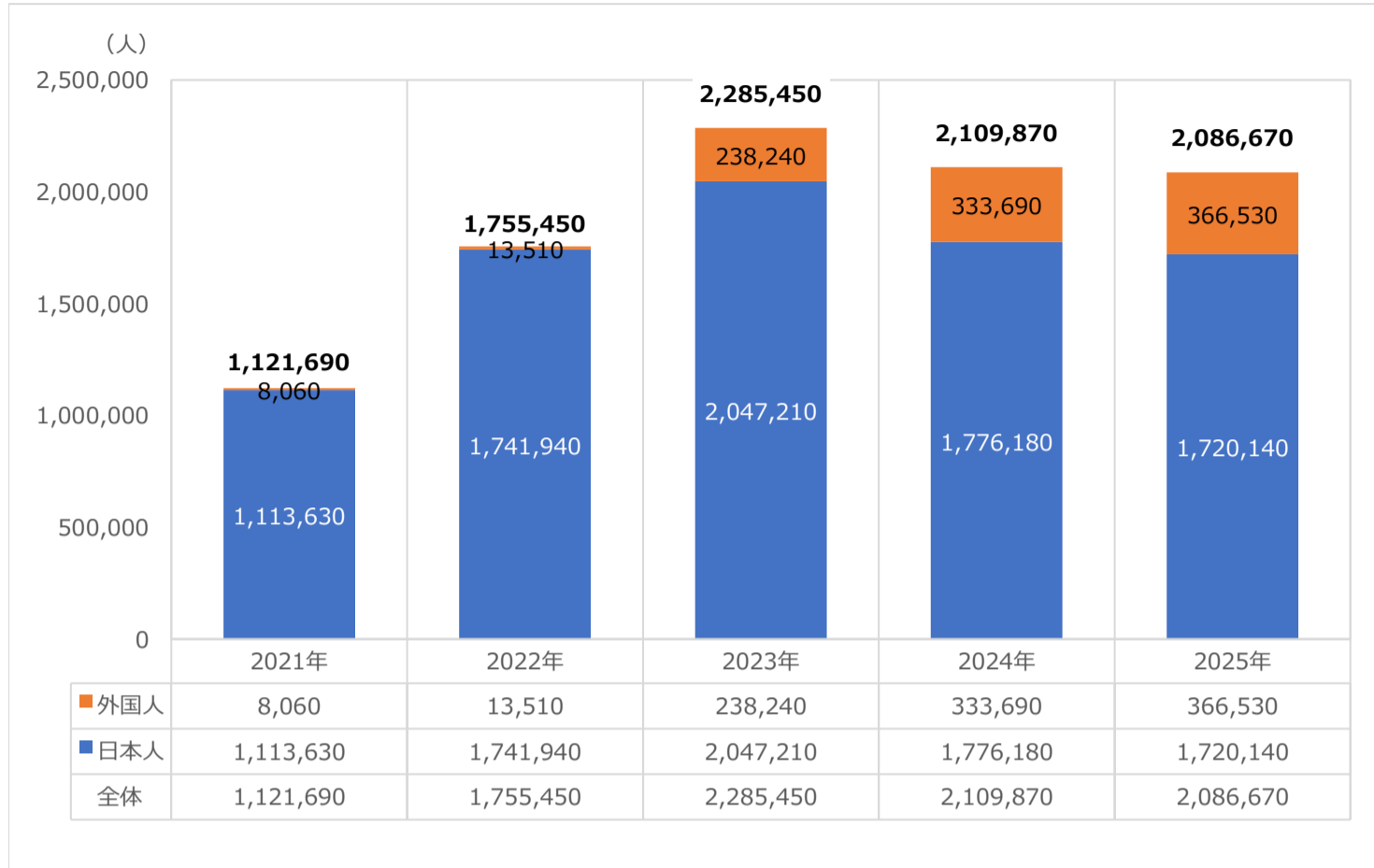
### ③ 外国人延べ宿泊者数



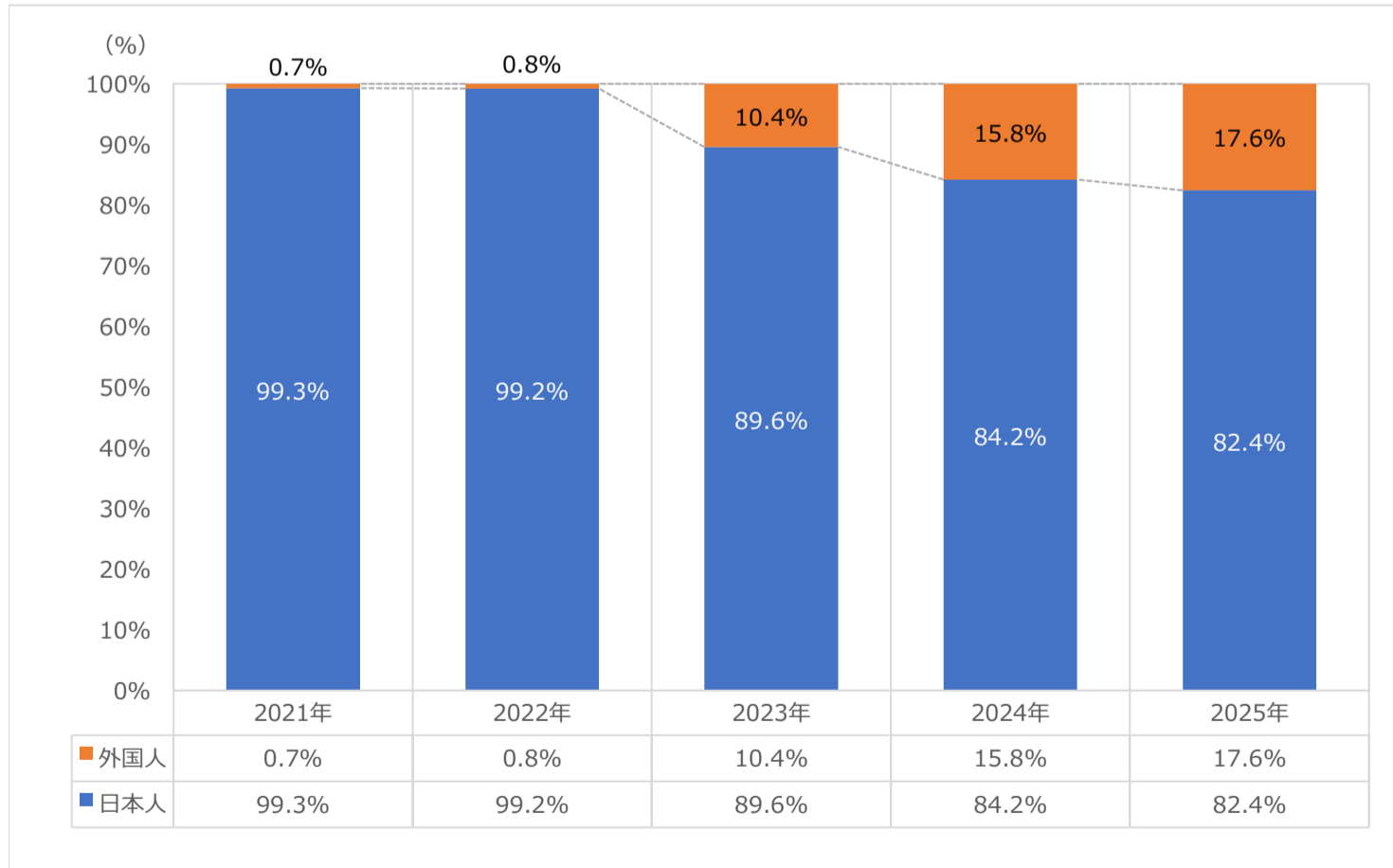
※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

4. 日本人・外国人別延べ宿泊者数



5. 日本人・外国人別割合

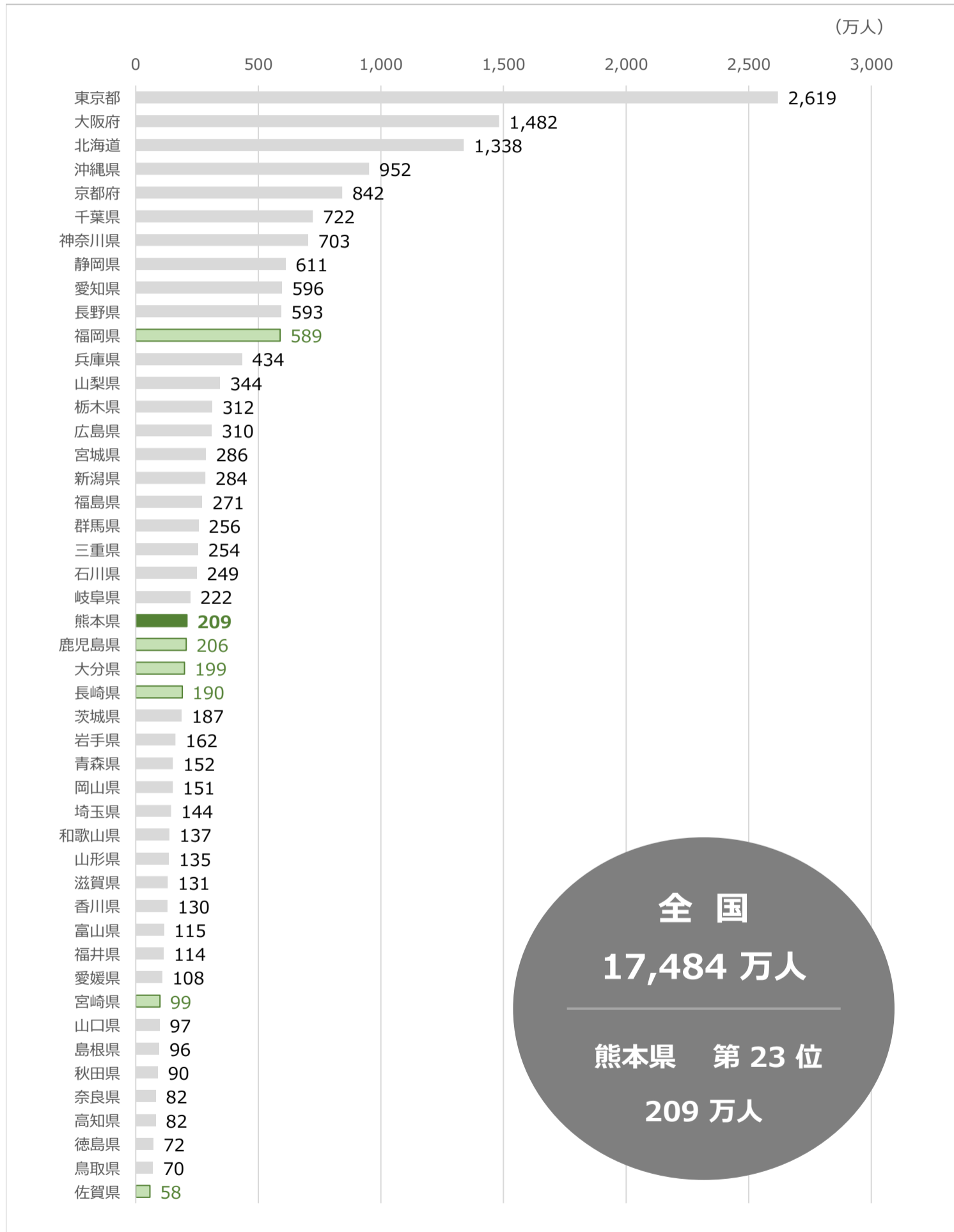


※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

## 2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

### 6. 都道府県別延べ宿泊者数

※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用

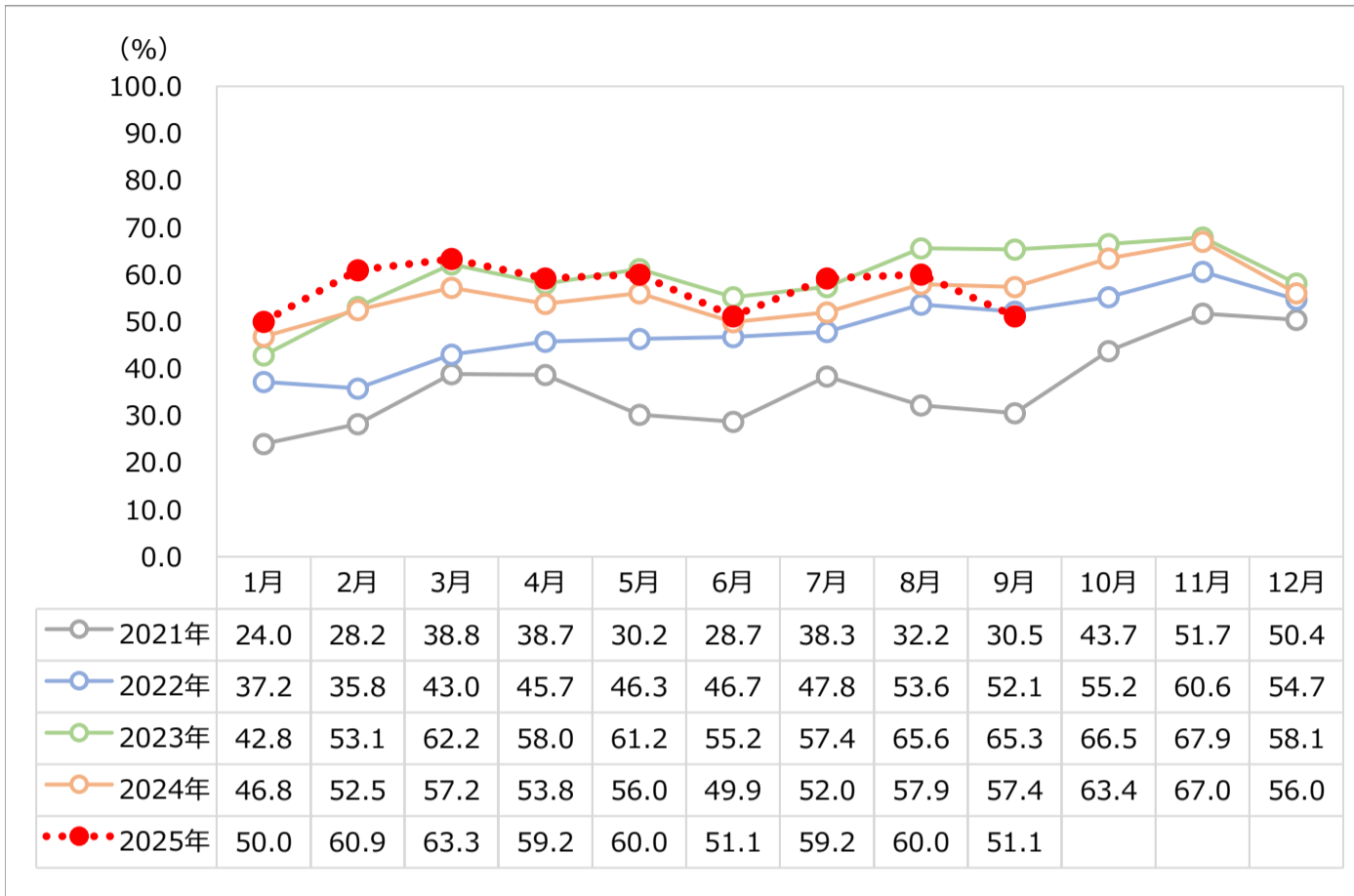


※2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

7. 客室稼働率

① 推移



① 施設別稼働率

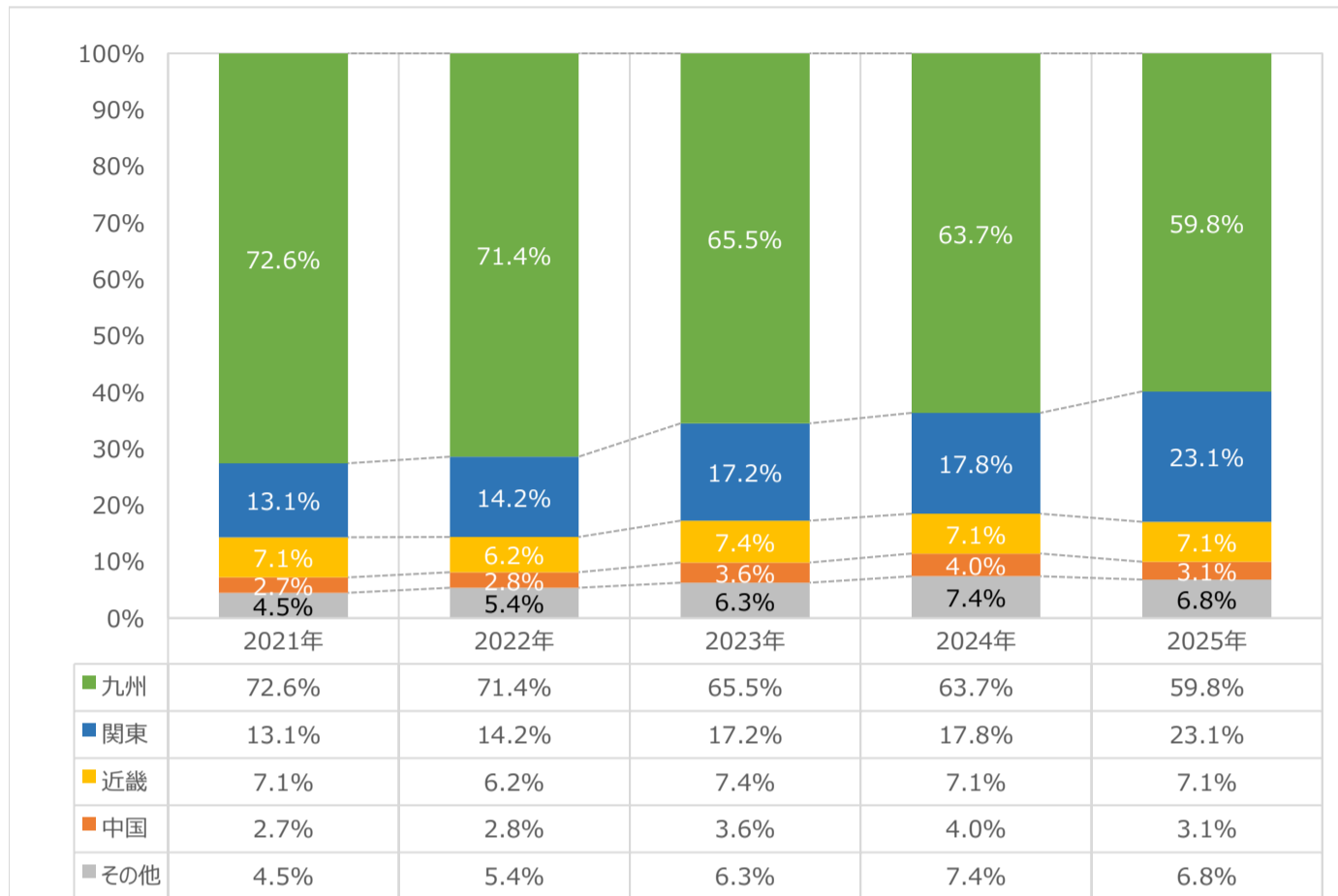
施設	2024年			2025年		
	7月	8月	9月	7月	8月	9月
全体	52.0%	57.9%	57.4%	54.2%	60.2%	60.0%
旅館	37.4%	41.8%	40.6%	36.2%	46.2%	39.1%
リゾートホテル	48.6%	57.0%	50.6%	40.2%	57.5%	54.9%
ビジネスホテル	64.3%	69.4%	71.2%	69.6%	72.1%	74.1%
シティホテル	71.2%	74.8%	76.3%	70.5%	79.5%	78.3%
簡易宿所	25.0%	39.2%	35.3%	23.9%	28.3%	26.2%
会社・団体の宿泊所	26.8%	31.2%	34.8%	20.3%	29.8%	36.3%

※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

8. 国内発地別延べ宿泊客者数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



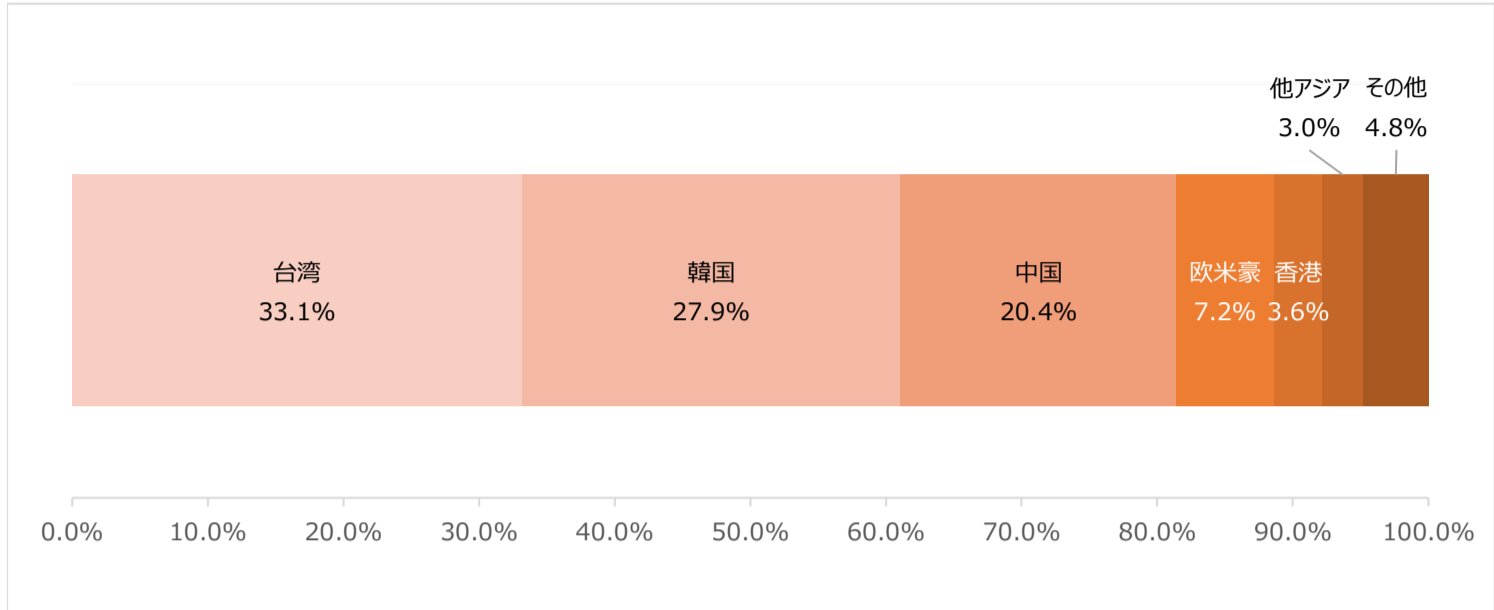
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2024年		2025年	
1	福岡県	25,014人	福岡県	17,468人
2	<b>熊本県</b>	22,399人	<b>熊本県</b>	17,106人
3	東京都	10,296人	東京都	11,186人
4	鹿児島県	7,190人	鹿児島県	4,189人
5	宮崎県	4,435人	神奈川県	3,454人
6	長崎県	3,989人	大阪府	2,803人
7	神奈川県	3,962人	大分県	2,565人
8	大分県	3,744人	宮崎県	2,529人
9	大阪府	3,610人	長崎県	2,223人
10	愛知県	2,847人	佐賀県	1,948人

※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

9. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（従業者数10人以上の施設）



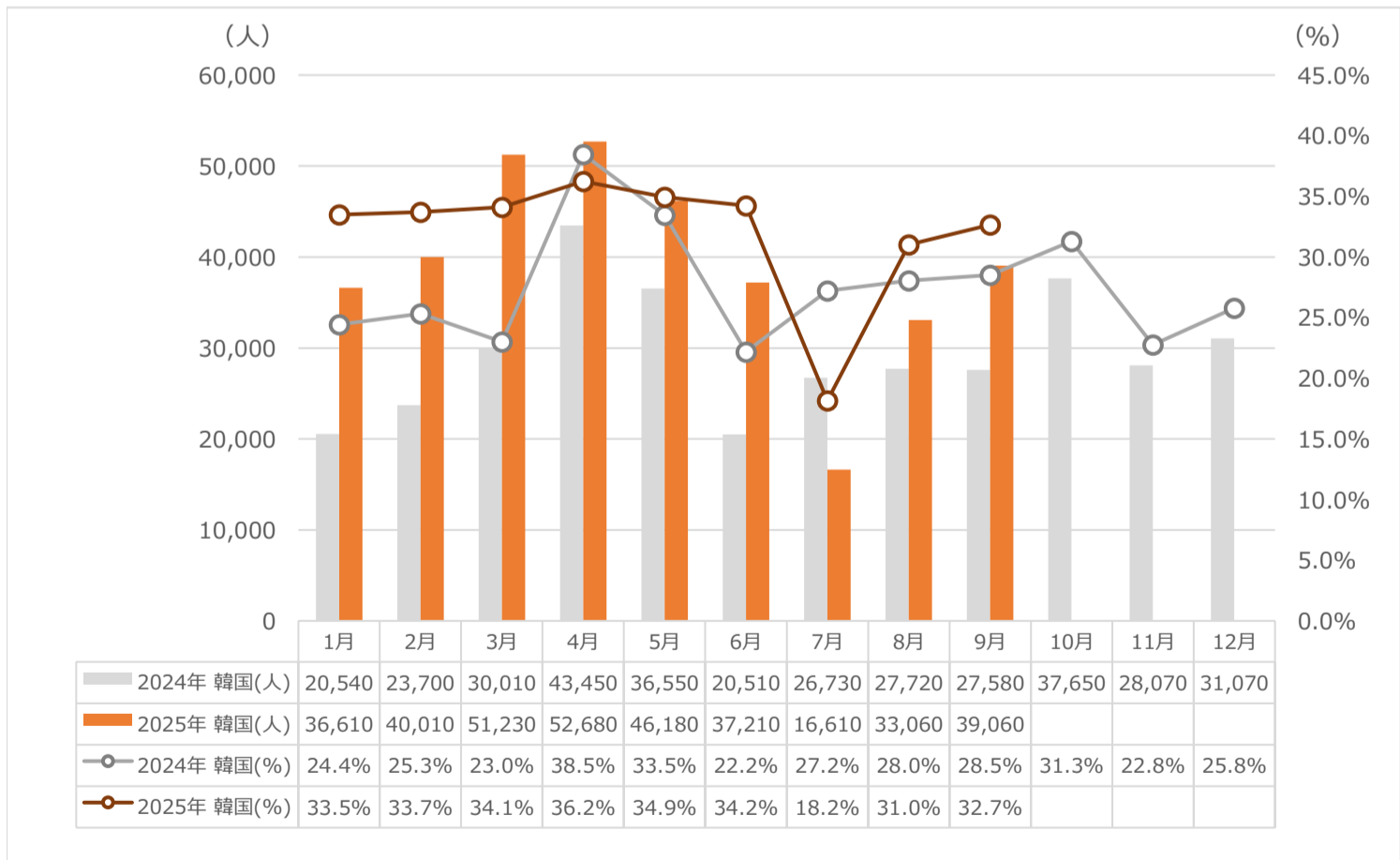
2025年3Qの国籍（出身地）割合は、台湾が「33.1%」で最も多く、次いで韓国が「27.9%」、中国が「20.4%」と続きました。

- 欧米豪 : アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン
- 他アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、インド、インドネシア、ベトナム、フィリピン
- その他 : 韓国、中国、香港、台湾、欧米豪、他アジアに該当しない国籍（出身地）

10. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合（従業者数10人以上の施設）

① 韓国

※人 = 延べ宿泊者数、% = 国籍割合

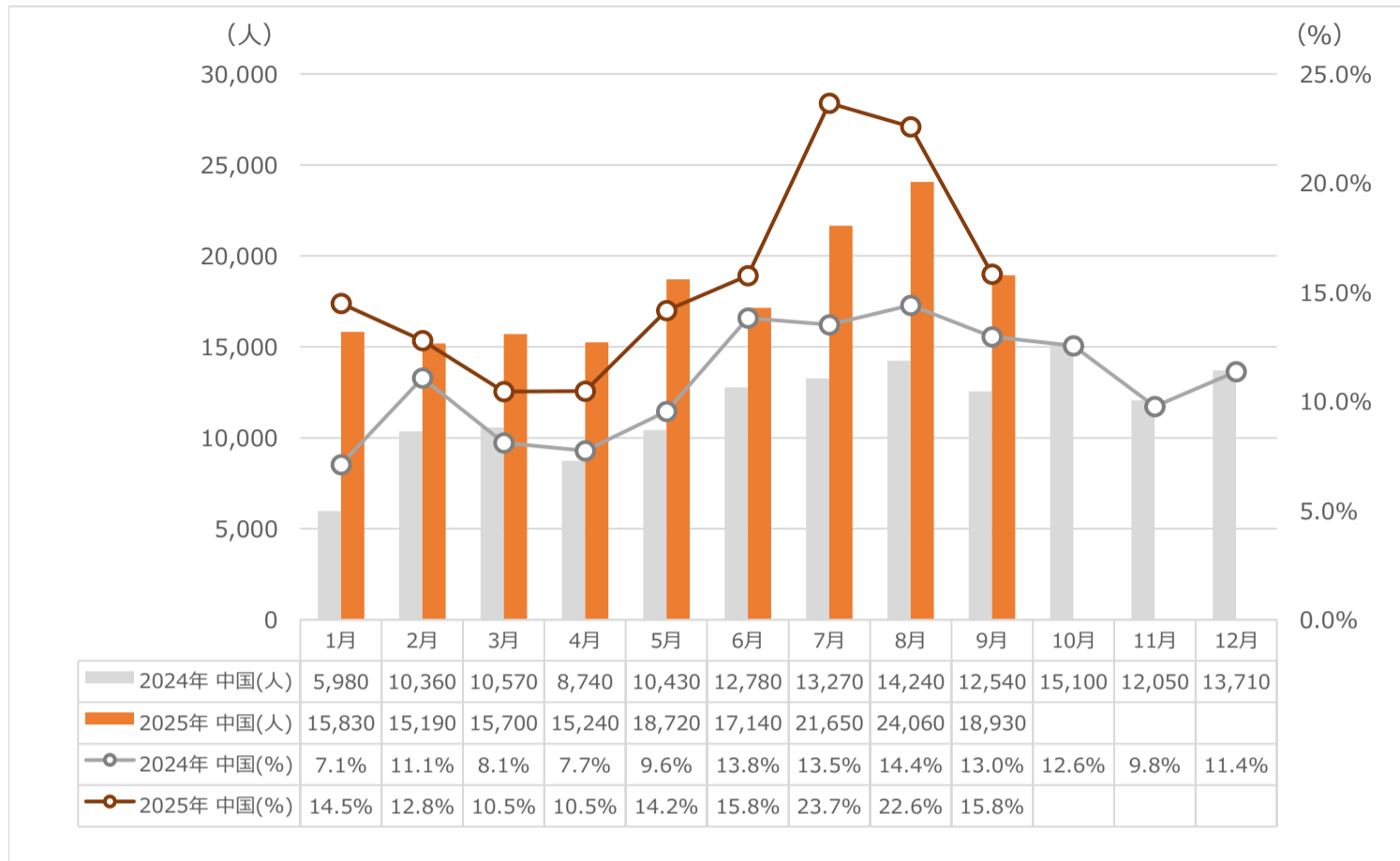


※2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

## 2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

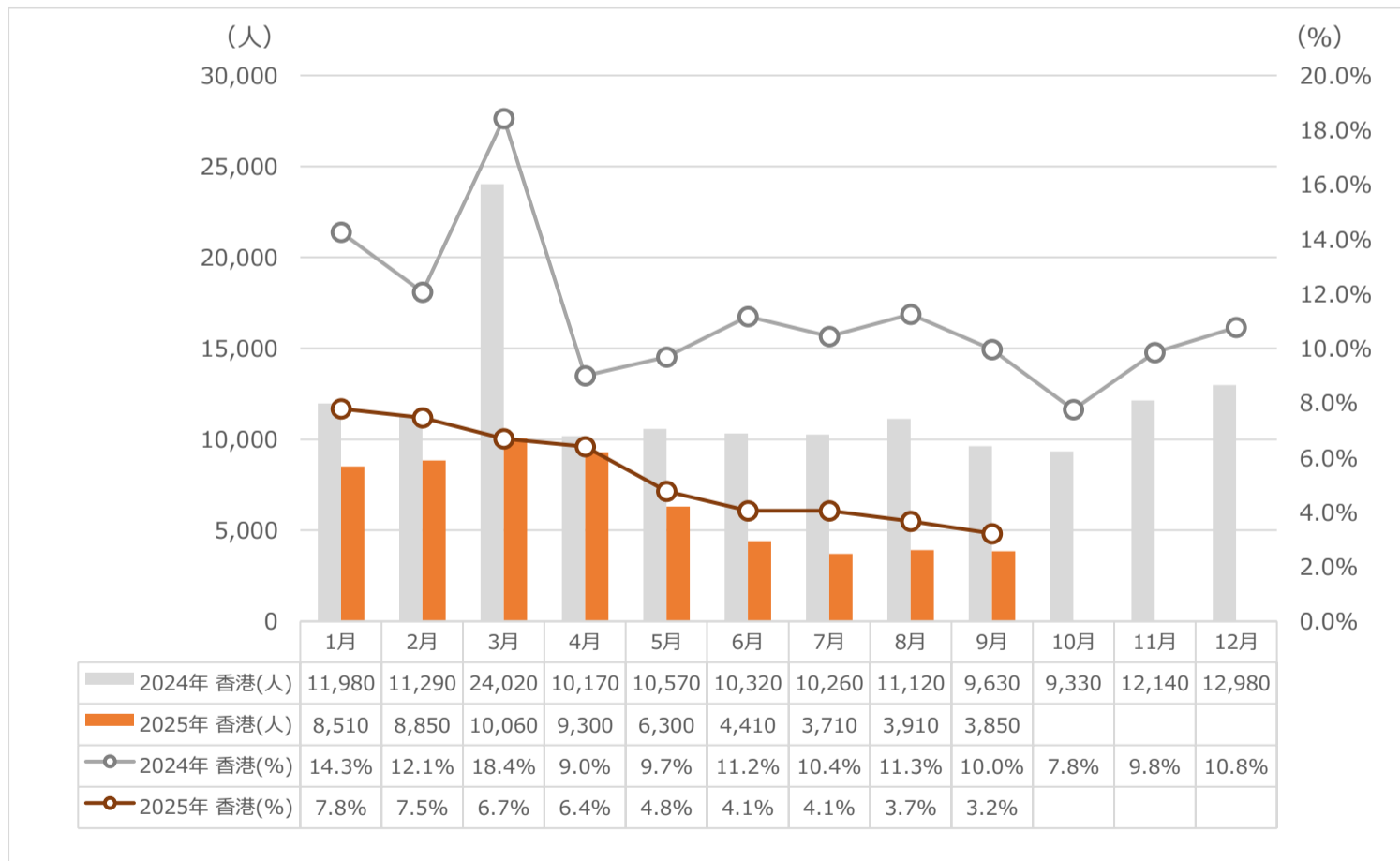
### ② 中国

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



### ③ 香港

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

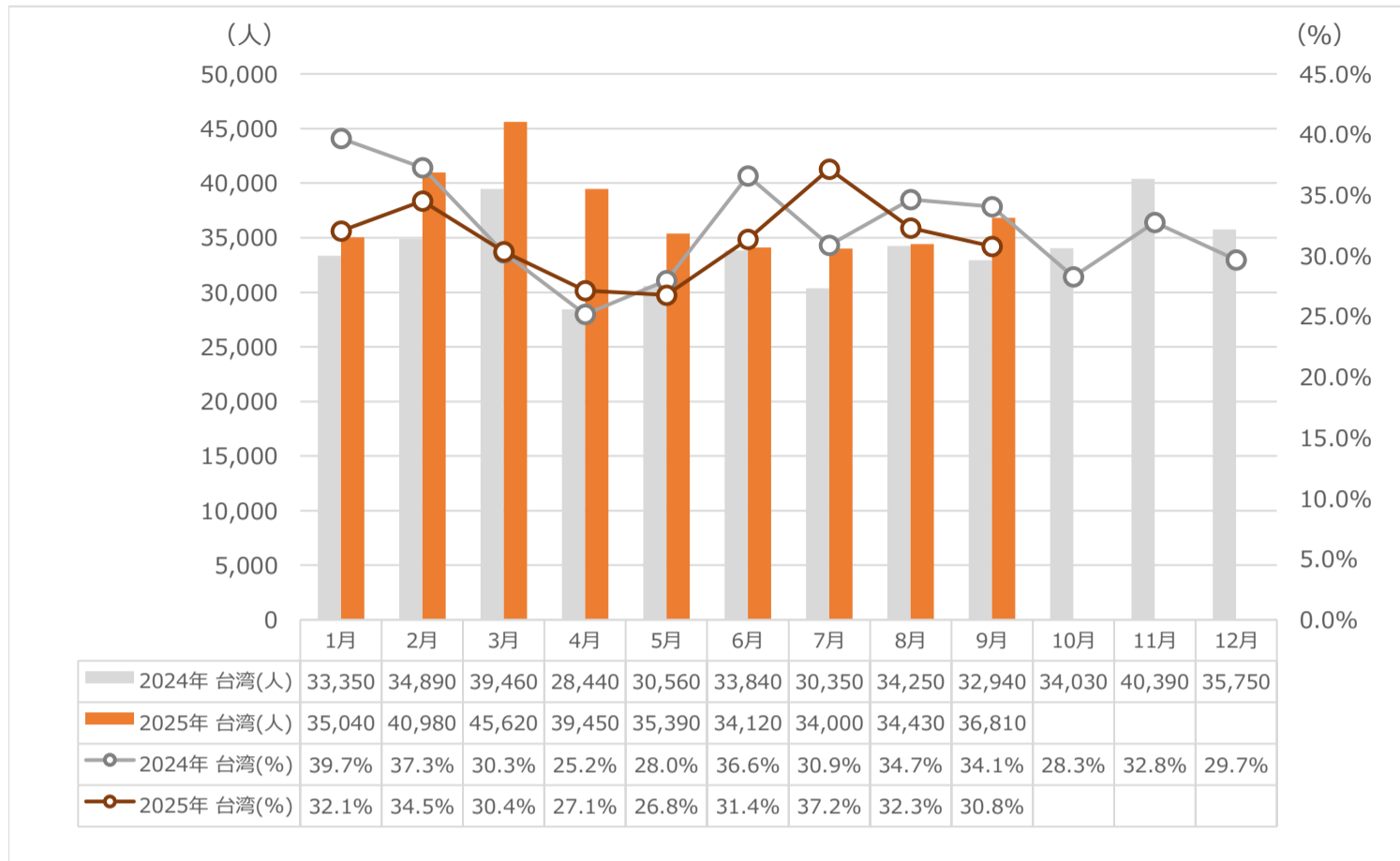


※2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

## 2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

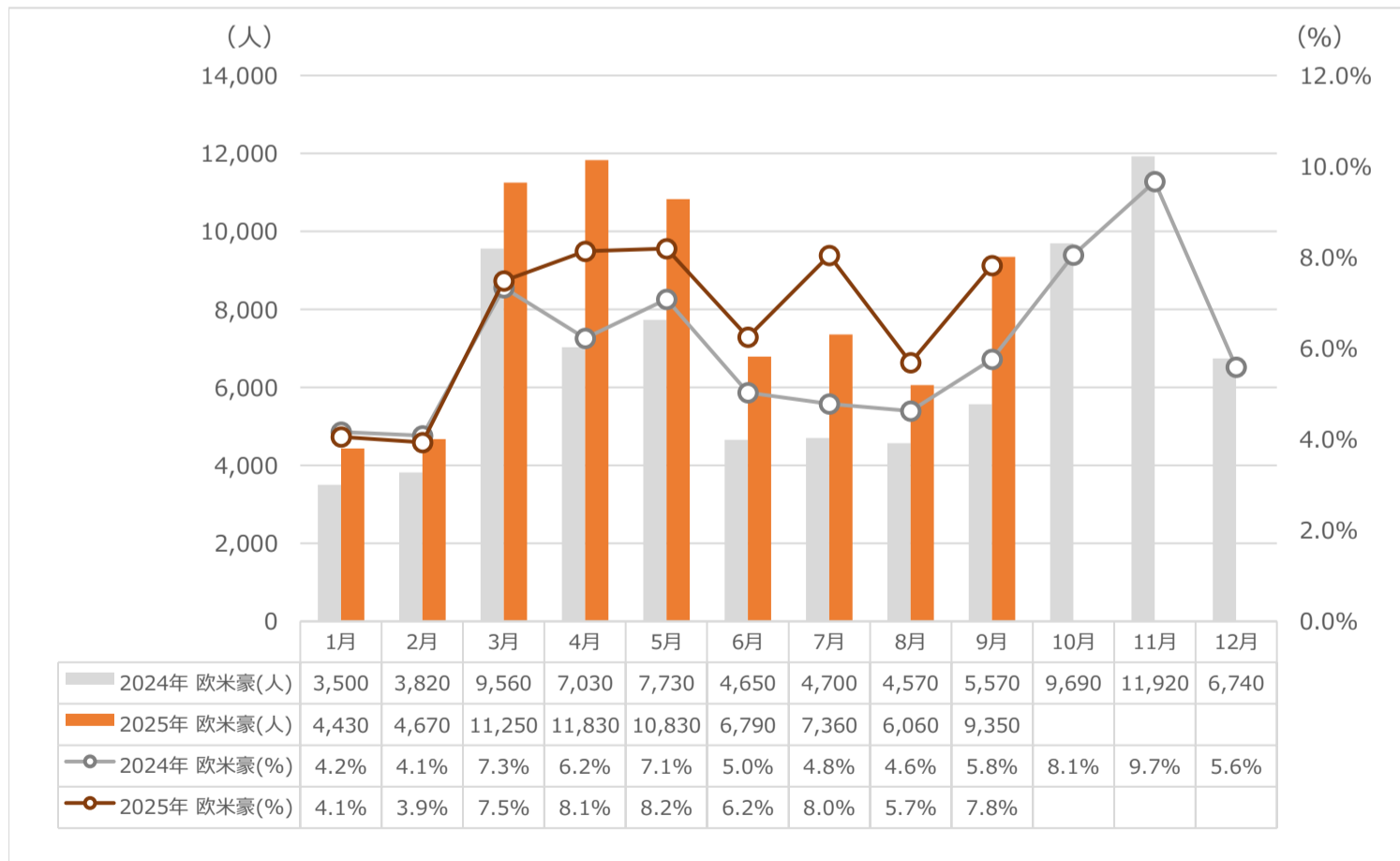
### ④ 台湾

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合



### ⑤ 欧米豪 … アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア、オーストラリア、イタリア、スペイン

※人＝延べ宿泊者数、％＝国籍割合

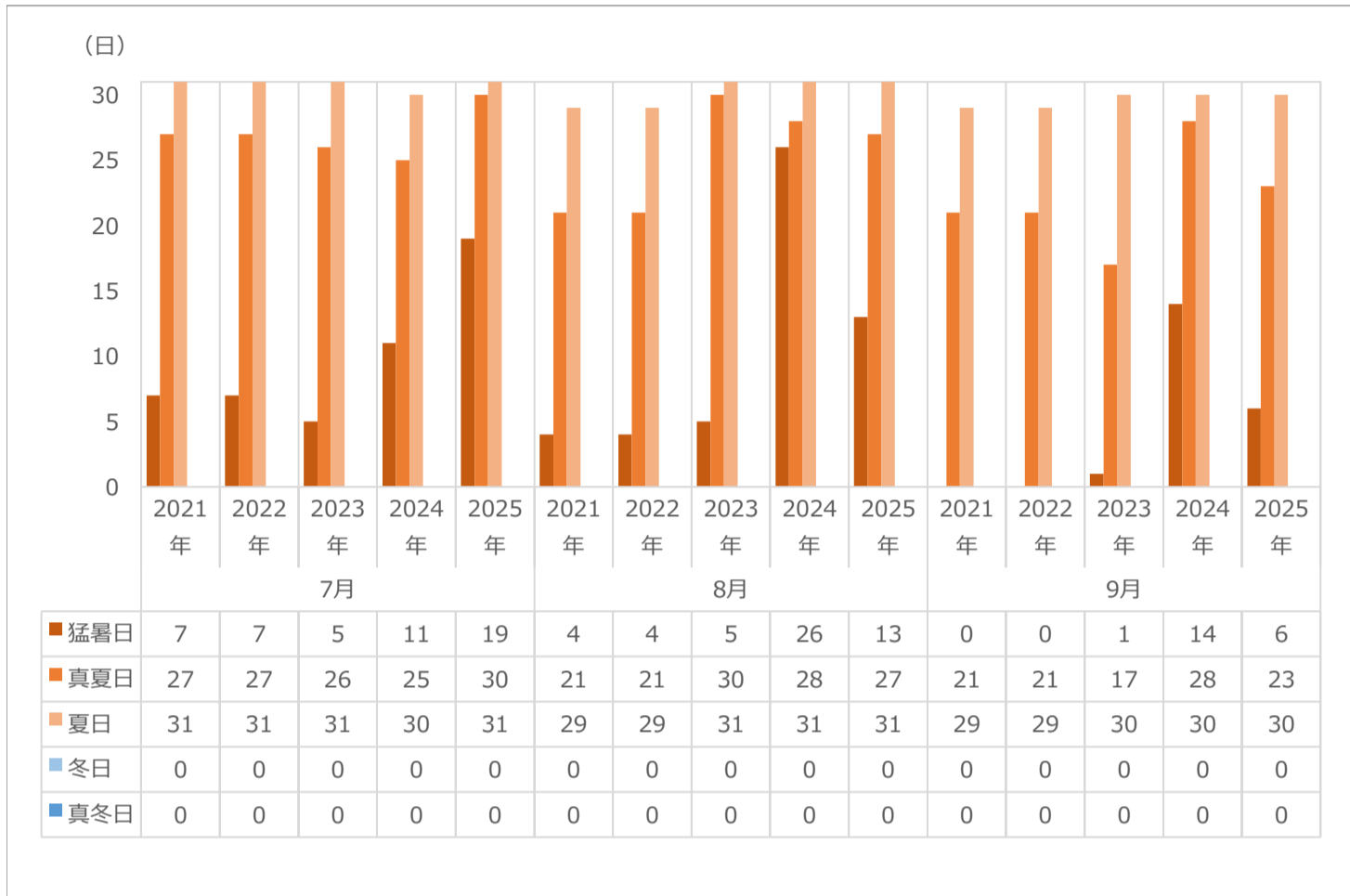


※2024年は確定値、2025年は第2次速報値に基づいて集計。2025年の値は、確定値への遡及改訂を実施する。

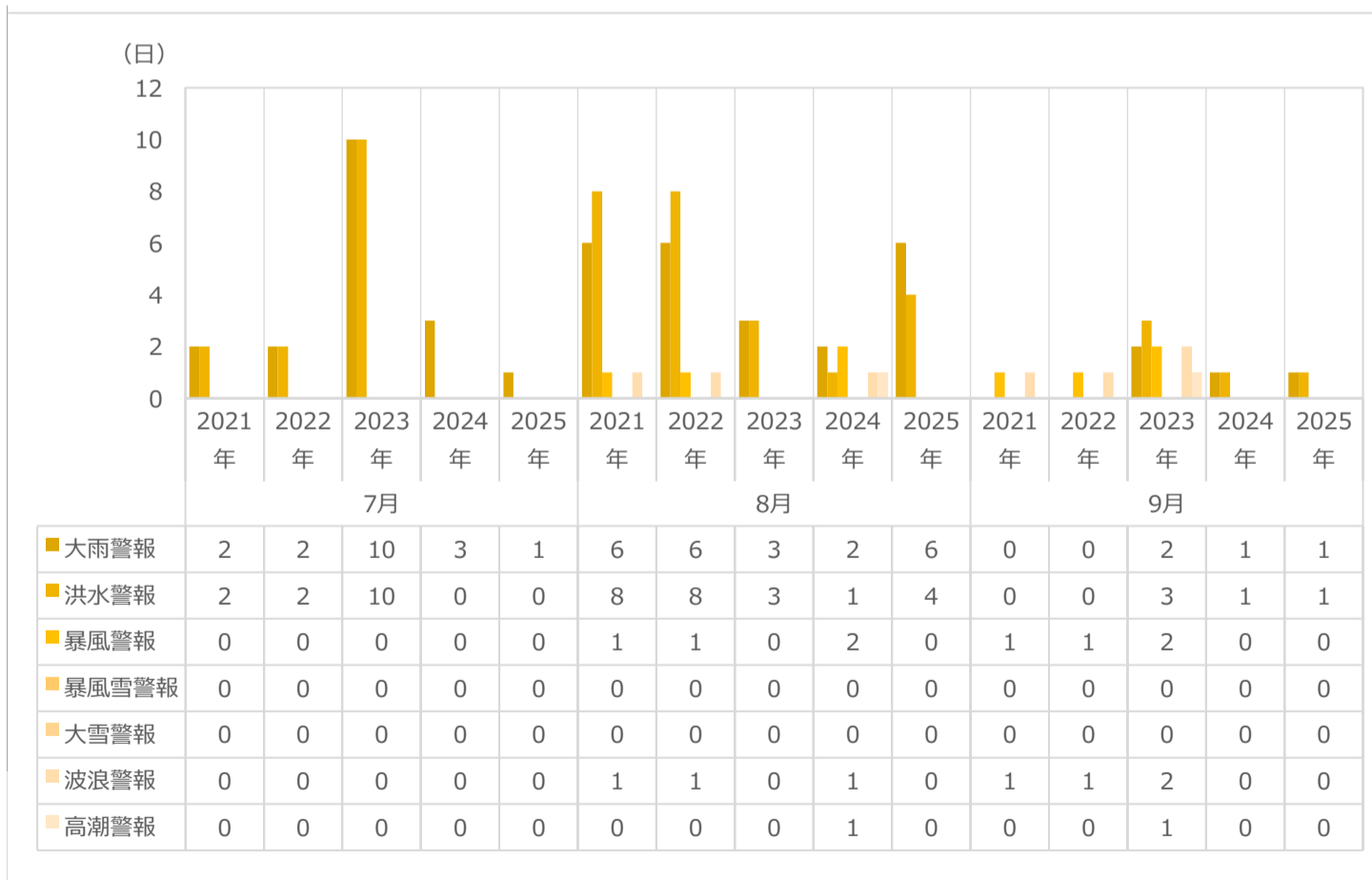
# 2025年3Q（7～9月） 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）（速報値）

## 11. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



※2025年8月11日に熊本県内5市2町（玉名市、長洲市、八代市、宇城市、氷川町、上天草市、天草市）で「大雨特別警報」が発令

12. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など [特記事項がない場合は空欄]

▽ 地域のトピックス ▽

- ・熊本城、7、8月の閉園を2時間延長し、午後7時に。（7/1～8/31）
- ・中国東方航空、熊本～上海/浦東線を開設（7/11）
- ・九州産交バス、産交バスが阿蘇の代表的なスポットを巡る日帰りバスツアー「ASO Caldera LINE」の運行を開始。（7/20～）
- ・令和7年8月豪雨が発生、県北・天草地域をはじめ県内各地で甚大な被害（8/10～11）
- ・「肥薩おれんじ鉄道」が八代～日奈久温泉間の運行を再開。（9/27）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

今期（2025年7月～9月）の熊本県の延べ宿泊者数は208.7万人と前年同期を1.1%下回った。特に8月の減少幅が大きく、前年同期を5.4%下回った。日別の動きをみると、宿泊稼働指数は平日については期間を通じて前年並みで推移した。一方、8月の3連休（8/9～11）は、県内全域が記録的な豪雨に見舞われた影響により、前年と比べて大幅に低下した。また、9月も秋分の日（9月23日 火曜日）が3連休とならなかったことから、前年に比べてやや低調に推移した。

地域別にみると、阿蘇地域、山鹿市、菊池地域、人吉・球磨地域、水俣・芦北地域、宇城地域、上益城地域で前年同期比マイナスとなった。特に水俣・芦北地域は前年同期比▲15.2%と前年を大幅に下回っている。

日本人・外国人別にみると、日本人延べ宿泊者数は同▲3.2%であったのに対し、外国人延べ宿泊者数は同+9.8%と増加した。外国人延べ宿泊者数を地域別に見ると、八代地域において同+103.1%、宇城地域において同+71.7%と大幅に増加している。国籍（出身地）別にみると、7月は日本で大災害が起こるというSNS上のデマの影響もあり韓国が前年を下回ったものの、それ以外の月では香港を除き、韓国、台湾、中国、欧米豪はいずれも前年同月を上回って推移している。

熊本県宿泊旅行統計調査について

1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。
  - (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合  
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値  
※2021～2024年は確定値、2025年は第2次速報値を採用。速報値は観光庁の確定値公表後に遡及改訂を実施する。
  - (2) 気象情報  
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
  - (3) 地域のトピックス  
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
  - (4) 観光シーズンの動向  
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの
2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。
3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。
  - (1) 本調査内の数値  
端数処理（表記のひとつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。  
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
  - (2) 他の同類・類似調査  
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。  
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

\*本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。